

京	都	府
1・8 ㊤西本願寺で成人記念帰敬式を挙行(青年男女110人が光照門主から「おかみそり」を受ける)。 中外 1・8		4・3 ㊤大谷光明(浄如上人)没、75歳(西本願寺第23世門主大谷光照実父)。 中外 4・4
1・15 ㊤西本願寺15本部9局21部からなる大遠忌法要執行体制を施く。 中外 1・18		4・4 ㊤西本願寺親鸞聖人700回大遠忌第2期法要を開幕する。 同上
1・16 ㊤合同浄土宗門主推戴委員会、合同後の代表役員に岸信宏知恩院門主を推戴。 同上		4・10 ㊤東山法然院、諸堂の新・改築と修理を完成、落慶法要を修行。 中外 3・31
1・20 ㊤西本願寺の遠忌事業の一つとして本願寺会館の工事が完成し、この日竣工式を挙行。 毎日年鑑 昭37		4・12 ㊤西本願寺、本願寺会館において全国保育大会を開催、仏教保育園の法人化促進などを協議する。 中外 4・14
1・一 ㊤仁和寺総合調査団建築班、平安末期旧御室御所遺跡の一部を発掘する。 中外 1・19		4・14 ㊤東本願寺、親鸞上人700年大遠忌法要(～28日、81万人の信徒参詣)。毎日年鑑 昭37
1・一 ㊤下鴨神社の大国信友会が94年ぶりに復活(会長、奥村準)。 中外 2・4		4・14 ㊤西本願寺、京都女子大学・竜谷大学など関係21校の宗門学生1万人による奉讃学徒音楽法要を営む。 中外 4・15
2・27 ㊤法然上人750年大遠忌にちなみ、天皇陛下から和順大師の諡号宣下される。 中外 2・28		4・15 ㊤山田玉田(黄檗宗総本山万福寺49代貫主)没、91歳。 毎日年鑑 昭37
3・1 ㊤浄土宗知恩院および清浄華院で、法然上人750年御遠忌法要(～7日)。3・2 から百万遍知恩寺でも同法要を執行。 中外 3・2、3		4・18 ㊤真宗仏光寺派本山仏光寺、開山大師親鸞聖人大遠忌法要に入る(～28日)。 中外 4・19
3・7 ㊤天理教京都教区、初めて教誨師(3人)と保護司(10人)の第1回連絡会議を京都教務支所で開催し年間の活動計画を決定。 中外 3・10		4・18 ㊤東寺(教王護国寺)、開創1200年記念大法要を営む(～21日)。 中外 4・25
3・10 ㊤西本願寺、親鸞聖人700回大遠忌法要(～4・16、参拝者約51万人)。 中外 3・14、21、4・16、19		4・19 ㊤竜谷大学経済学部、421人の新入生を迎え、第1回の入学式を挙行。 中外 4・21
3・13 ㊤三十三間堂の大修理(昭5着工)完成し記念落慶法要が行なわれる(～17日)。 毎日年鑑 昭37		4・24 ㊤文部省、遠忌記念事業である大谷派育英財団の設立を認可する。 中外 4・27
3・15 ㊤伏見稲荷大社鎮座1250年祭行なわれる。 同上		4・一 ㊤知恩院山内に宗学研究所を完成。 中外 4・1
3・26 ㊤京都カトリックセンター落成式挙行。 同上		5・1 ㊤西山浄土宗総本山光明寺(長岡町粟生)で法然上人750年大遠忌法要(～7日)。 中外 5・2
3・31 ㊤千本釈迦堂大報恩寺、千本の釈迦念仏(遺教経会)法要を復興。 中外 4・1		5・8 ㊤西本願寺、701年の教団づくりをめざし、中央仏教学院(右京区山の内御堂殿町)に教化指導者養成所を開設。 中外 5・10
3・一 ㊤真言宗東寺派総本山東寺山内、講堂を一般公開することを決定。7・1 一般公開。 中外 3・28、7・1		5・一 ㊤真言宗醍醐派三寶院庭園、国庫補助により全面的改修の準備にとりかかる。 中外 5・17
3・一 ㊤吉水学園高等学校、『浄土宗尼僧史』を遠忌記念事業として出版。 中外 3・25		5・一 ㊤西本願寺、放送委員会を設置、宗教放送に本格的にとりくむ姿勢をかためる。第1回会合を5・23 に決定する。 同上
4・1 ㊤西山禅林寺本山、法然上人750年大遠忌を修行(～7日)。 中外 4・1、7		5・一 ㊤知恩院仏教文化研究所、『法然上人伝成立史的的研究』を刊行。 中外 5・23
4・1 ㊤真宗興正派本山興正寺、親鸞聖人大遠忌法要を修行(～11日)。 中外 4・1		6・3 ㊤山本玄峰(元臨済宗妙心寺派管長)没、96歳。 毎日年鑑 昭37
4・1 ㊤室町公藤、平安神宮宮司に就任。 中外 3・21		6・25 ㊤北野天満宮鎮座1000年祭挙行。 同上
4・1 ㊤真宗大谷派の遠忌記念事業の一つとして大谷婦人会館完成し、この日竣工式を挙行。 毎日年鑑 昭37		6・27 ㊤訓覇信雄、真宗大谷派宗務総長に就任(遠忌終了を機に辞任した宮谷法含の後任)。 同上

京	都	府	日	本
6・28 ㊤竜谷大学経済学研究所を発展的に解消し、仏教文化研究所を新設。 中外 6・25			1・一	1958年度ノーベル平和賞受賞者ビートル神父来日、心の世界・世界平和運動への共鳴を訴える。
6・一 ㊤竜谷大学、文学部と経済学部新入生の宗教調査を行なう、約半数が宗教の必要性を回答。 中外 6・29			1・一	全日本仏教会・東京墓地対策委員会は墓地埋葬等に関する法律一部改正請願運動を行なう。
7・2 ㊤ハーバード大学学生62人、妙心寺に参拝。 中外 7・4			2・一	中村元、フロリダ大学・コルゲート大学・エール大学で仏教を講ずる。
7・25 ㊤世界宗教者平和会議、左京区岡崎の京都会馆国際会議場で開催(～28日)。7・27には青年学生階層会議を開催(京都市内の各仏基系大学・YMCA・京都キリスト平和の会・各教会青年部・大本青年部の代表約40人が出席)。青年の立場から非戦アピールをする。 中外 7・4、25			3・10	神社本庁、不敬罪制定請願運動を開始、生長の家も参加。
7・一 ㊤西本願寺、『本願寺史』第1巻(全4巻)を刊行(大遠忌記念事業の一つ、安永年間の『本願寺通記』以来200年ぶりの真宗全史)。 中外 7・19			3・15	鳴竜で有名な日光の薬師堂焼失。
8・6 ㊤修験宗総本山聖護院、修験宗からの離脱を公告する。 中外 8・9			3・26	天台宗、資金1億円の教学財団設立を企画。
8・7 ㊤西本願寺、同和教育会館の起工式を挙行(昭38・7 完成)。 中外 8・8			5・6	東京クリスチャンクルーセード、東京都体育館で開催、～6・4(1カ月間の参会者総数22万6,000人、入信決心者8,939人)。
8・15 ㊤第10回世界平和祭(世界平和祈願慰霊国民大会)、京都会馆第2ホールで開催、日本と世界の戦没者ほか万国万霊の追悼慰霊供養・世界恒久平和達成祈願(祭典委員長は牧野虎次)。 中外 8・13			5・一	浄土宗、宗勢調査を開始。
8・27 ㊤臨済宗南禅寺、南禅寺会館を完成し、落慶法要を執行。 中外 8・26			6・25	神宮皇学館大学の再建地鎮祭、伊勢市倉田山で挙行(神宮皇学館は明15神宮・中等教員の養成機関として創立され、昭15大学に昇格、昭21・2 GHQの指令で廃校)。
9・16 ㊤台風18号により知恩院阿弥陀堂東福寺方丈・大覚寺正寝殿などに被害。 中外 9・17			6・一	横浜鶴見の総持寺で第9回全日本仏教徒会議を開催。
10・一 ㊤仏教大学、明春から社会福祉学科の開設を計画し、文部省に増設を申請。 中外 10・29			11・12	カンボジアにて第6回世界仏教徒会議を開催。
11・4 ㊤日蓮宗本山頂妙寺所蔵仁王像(鎌倉末)胎内から法華経8巻と縁起文などを発見。 中外 11・7			11・一	創価学会の政治組織、公明政治連盟結成。
11・11 ㊤本能寺会館において、第8回京都仏教徒会議を開催。湯川秀樹「軍備全廃と核実験をめぐって仏教徒に訴える」講演を行なう。 中外 11・12			12・4	津田左右吉没(88歳)。
11・一 ㊤禅文化研究所建設につき、臨済宗各派合同設置を申し合はす。 中外 11・29			12・25	矢内原忠雄没(68歳)。
12・22 ㊤浄土宗第83次臨時宗議会、合同に関する宗制宗綱を確認し、合同認証申請に踏みきる。昭37・3・30文部省が認証。 中外 12・24、昭37・3・30				
12・28 ㊤西本願寺教学助成財団、認可される。 中外 昭27・1・6				

京	都	府
<p>1・15 ㊤護王神社の神道教養大学講座5周年記念第100回特別講座開催(昭32・2・16、酒井利行宮司の提唱で発足。受講者平均30人、20~50歳)。中外 1・18</p> <p>1・一 ㊤仏教大学、創立50周年記念事業として図書館書庫・閲覧室・研究室の増築を計画する。中外 1・23</p> <p>2・3 ㊤大本開教70周年記念式。大本70年史</p> <p>2・21 ㊤真宗仏光寺派前管長渋谷隆教没、77歳。中外 2・24</p> <p>2・24 ㊤京都本能寺会館を完成し開館式を挙げる。中外 2・17</p> <p>3・15 ㊤大雲院別院、宗教活動上好ましくないとして寺町四条の歓楽街から郊外の東山区今熊野に疎開。京都年鑑 昭38</p> <p>3・17 ㊤天理教の中心会(主幹、常岡一郎)、京都新聞ホールで大講演会を開催(講師、常岡一郎・尾崎士郎)。中外 2・9</p> <p>3・下 ㊤茂洋が同志社教会牧師を辞任。同志社教会90年小史</p> <p>3・一 ㊤伏見稲荷神社鎮座1250年の記念行事の一つとして参集殿の建設に着手(工費5,000万円、延700坪、京大桐橋教授が設計)。中外 2・8</p> <p>4・1 ㊤良正院(東山区林下町)の大照学園が聾児施設から精神薄弱児施設に転換。仏教年鑑 昭44</p> <p>4・1 ㊤臨済宗南禅寺派本山南禅寺、開山南印国師の650年大遠諱法要を修行。中外 1・25、4・3</p> <p>4・7 ㊤浄土宗と浄土宗本派、合同(昭22・12・8 浄土宗総本山知恩院が宗本一本の理念をかかげて浄土宗から離脱、浄土宗本派を結成し、浄土宗4,500、本派3,000の末寺を擁して対立してきたが15年間の交渉を経て不可能といわれた合同を遂に達成。新浄土宗の誕生は総本山知恩院を信仰の頂点において僧俗一体のユニークな宗団造りを宗制でうたう)。毎日年鑑 昭37</p> <p>4・24 ㊤西本願寺伝道院を新設。中外 4・26</p> <p>4・一 ㊤下鴨南芝町の日本ユナイテッド=ペンテコステ教団、教師養成のため聖書学院を設置。☆</p> <p>5・19 ㊤日本印度学仏教学会第13回学術大会を竜谷大学で開催、研究発表者数225人(~20日)。中外 5・2、22</p> <p>6・13 ㊤第1回浄土宗宗議会議開催、初代岸門主所見を表明。中外 6・15</p> <p>6・13 ㊤祇園祭の鉦巡行、阪急地下鉄工事をめぐり地元・阪急・京都市の話し合いは続いたが巡行を中止、居祭りに決定。京都年鑑 昭38</p>	<p>6・16 ㊤日蓮宗京都大本山本圀寺、西川景文新貫主仮入山式を行なう。中外 6・19</p> <p>6・下 ㊤護王神社で「護王」大精神顕彰シリーズ第1輯『国体護持の道一和気公と現代一』を刊行。中外 6・23</p> <p>7・9 ㊤仏教東漸70年記念会、仏教文化京都会議を京大楽友会館で開催。中外 7・5</p> <p>7・25 ㊤律宗本山壬生寺本堂焼失。中外 7・26</p> <p>8・1 ㊤西本願寺婦人青少年部と東本願寺青少年部共催の第6回仏教保育大学講座を西本願寺前の本願寺会館で開催、真宗保育の実践をめざす(~4日)。中外 8・1</p> <p>8・19 ㊤セブンスデー=アドベンチスト京都教会、北区紫野西泉堂町44に新会堂を建立、献堂式を挙げる。中外 8・15</p> <p>8・20 ㊤修験宗総本山聖護院、修験宗からの離脱の認証をうける(ともに離脱する末寺10数カ寺と合わせ「本山修験宗」を呼称。10・3さらに4カ寺が離脱し、同宗は3つに分裂)。京都年鑑 昭39</p> <p>8・26 ㊤法然院方丈、台風14号のため倒壊、内部の狩野光信筆「金地着色桐竹図」(重文)の襖絵が破損。28日府文化財保護課、「文化財を破損させる恐れのある周囲の樹木を取り除くよう」文化財所有者に警告)。同上</p> <p>8・28 ㊤日本仏教保育協会年次総会会長に大谷光照西本願寺門主を選出。中外 8・30</p> <p>9・1 ㊤臨済宗妙心寺派大本山妙心寺の「浴鐘楼」(重文)、放火のため全焼(10・15身替わりに仁王門新高倉東入ル信行寺の鐘楼が決定)。中外 9・4、京都年鑑 昭39</p> <p>9・9 ㊤私立洛南高校に「文化財パトロール班」が生まれ、国宝・重文の多い東寺を守る(高校生中心のこうした組織は全国でも初めて)。京都年鑑 昭39</p> <p>9・3 ㊤知事、重要文化財保護のため府独自で予算300万円を計上することを表明(11・22府独自の文化財保護補助金の申請受け)。府政だより資料版 89</p> <p>9・11 ㊤日蓮宗大本山本圀寺は寺の維持・経営困難を理由に鎌倉への移転を計画し、貫主派と信徒総代派が対立していたが、この日西川住職が境内地約80%(約2万6千平方メートル)を売買契約していたことが判明し、新たな内紛つづく。京都年鑑 昭38、39</p>	

京	都	府	日	本
<p>9・20 ㊤日蓮宗瑞竜寺門跡九条日浄没、65歳。中外 9・23</p> <p>9・29 ㊤鈴虫寺で知られる洛西華嚴寺、境内に虫の墓をつくる。京都年鑑 昭39</p> <p>10・7 ㊤宇治平等院、観光客の激増で国宝阿弥陀堂などの痛みがひどいため、堂の屋根の鳳凰堂・中堂内の原絵を複製と取り替え。同上</p> <p>10・14 ㊤禅ブームにのり臨済宗妙心寺派、山内靈雲院で大眾禅を始める。同上</p> <p>11・8 ㊤大谷楽苑、宮内庁雅楽部において仏教楽劇念仏太郎左を上演。中外 11・2</p> <p>11・18 ㊤乙訓郡向日町寺戸の宝菩提院にある国宝「薬師如来像」、老朽した同寺から右京区大原野の<花の寺>勝持院に移転。京都年鑑 昭39</p> <p>11・23 ㊤壬生寺、仮堂への入仏式を行なう、あわせて工費など6,000万円で鉄筋による本堂復元工事を計画。中外 11・22</p> <p>11・24 ㊤京都家政学園において、仏教保育講習会を開催。仏教保育に関する講演ならびに保育舞踊の実技指導を行なう(~25日)。中外 11・20</p> <p>11・30 ㊤竜安寺に消防道路完成。京都年鑑 昭39</p> <p>11・一 ㊤西本願寺教学助成財団、一般研究助成・国内留学研究助成・海外留学研究助成を実施。中外 11・10</p> <p>12・一 ㊤真言宗御室派仁和寺本山、寺族婦人の布教師、各部会専任の布教師選任、信徒会館の建設を決定し、教団の刷新をはかる。中外 12・5</p>	<p>この年</p> <p>▷ ㊤同志社が創立90周年記念15億円募金開始。同志社90年小史</p>	<p>1・30 第1回世界連邦仏教徒懇談会開催(本部は東京都千代田区九段南)。</p> <p>2・7 皇学館大学設立認可(総長・元総理吉田茂、学長・近江神宮宮司平田貫一)。</p> <p>4・11 日本宗教者平和協議会結成。</p> <p>4・一 『公明新聞』創刊。</p> <p>5・16 行政事件訴訟法の施行に伴う関係法律の整備等に関する法律(宗教法人法の一部改正を含む)公布(昭37・10・1施行)。</p> <p>6・1 大阪市難波別院・四天王寺で第10回全日本仏教徒会議を開催(~2日)。</p> <p>7・29 日本カトリック再建100年祭開催。</p> <p>7・30 京都市建勲神社宮司松原静、パチカンの教皇ヨハネス23世と会員(これは同社祭神信長がカトリック信者を保護した事蹟による)。</p> <p>8・8 柳田国男没(87歳)。</p> <p>9・9 東京神田学士会館で仏教東漸70周年記念会を開催、40人の仏教使節団を米国に派遣。</p> <p>10・1 天台宗寺院実態調査を実施。</p> <p>11・9 比叡山延暦寺の大講堂(昭31・10全焼)の再建が完成。</p> <p>11・一 全国青少年教化協議会(財)発足(本部・東京都文京区大塚、会長大谷光照)。</p> <p>12・23 三井豊興(天台宗寺門派管長)没(73歳)。</p>		

京	都	府
1・19 ㊤日蓮宗門跡寺院の村雲御所瑞竜寺の近江八幡移転工事完成。 京都年鑑 昭39	4・19 ㊤船岡山の建勲神社で織田信長380年奉祝大祭。 中外 4・18	
1・一 ㊤建仁寺、大方丈の屋根のふき替えを完成。 中外 1・17	4・20 ㊤全日本仏教学生自治連合、竜谷大学における全国協議会で正式に発足。 中外 4・24	
1・一 ㊤日野法界寺、文化財の防災と「滅びゆく伝統」を守るため、法界寺自衛消防団を結成。 中外 1・23	4・21 ㊤本門仏立宗、大本山宍清寺において門祖日隆500回遠諱を営む(～23日)。 中外 4・23	
2・1 ㊤日蓮宗宗務院、本圀寺境内地処分問題にたいし西川景文貫主を解職し住職代務に鷺内智賢を任命(4・18日蓮宗第2部審査会は西川前貫主の緊急罷免処分取消しを判定したため2人住職の形となり対立つづく。10月三谷会祥が特命任職代務に就任)。 中外 2・5、京都年鑑 昭39	4・21 ㊤京都宗教平和協議会が平安基督教会で平和運動の団結と協力を訴える京都集会を開催、木下順二が記念講演。 中外 4・19	
2・5 ㊤真言宗縁城寺(中郡峰山町橋本)木造カワラぶき多宝塔、大雪のため倒壊。 中外 2・7	4・24 ㊤黄檗宗第53代管長に木村宜豊を選出。 中外 4・26	
2・12 ㊤黄檗宗本山万福寺、溪道元管長の退山に伴い同法山塔頭中村弘道が管長兼任住職代務者に就任(6・9第53代管長木村宜豊の晋山式)。 京都年鑑 昭39	4・28 ㊤青蓮院、財政問題などから天台宗を離脱し単立寺院となる手続きを行なった旨通告(7・31清田宗務総長と話し合い離脱問題を白紙にかえし、8・1申請を取り下げる)。 京都年鑑 昭39	
2・16 ㊤伏見稲荷神社鎮座1250年記念事業の一つとして山上の池から落差を利用した防災施設の設置を計画、起工奉告祭・地鎮祭を執行。 中外 2・22	4・一 ㊤放火で焼失した妙心寺の浴鐘楼、浄土宗信行寺の鐘楼を移築し完成。 中外 4・7	
2・一 ㊤養護施設平安養育院(知恩院創設)に児童福祉の発展と実態調査研究を目的とした収容具のクリニック(臨床)センター「和順ホール」が完成。 中外 2・10	5・21 ㊤西本願寺、宗祖降誕会で教典を音楽化した初の本格的音楽法要を行なう。 中外 5・22	
3・15 ㊤府青少年教化協議会の創立総会を京都公会館で開催(府下3千寺院が団結して仏教精神をもとに青少年教化運動を展開)。 京都年鑑 昭39	5・26 ㊤京都仏教徒会議(大西良慶理事長)、東山清水寺に東南アジアからの留学生を招き激励会を催す。 中外 5・30	
3・22 ㊤日蓮宗本圀寺新内局、境内地75%を正式売却に決定。 京都年鑑 昭39	5・一 ㊤全日本仏教会の招待で来日中の中国仏教協会代表団(団長趙樸初)一行が、万福寺・平等院・智積院などを参拝。 中外 5・8	
3・27 ㊤本門仏立宗、第40回定例会で第15世講有に田中日辰を選ぶ。 中外 3・29	5・一 ㊤浄土宗総本山知恩院蔵の宗版一切経、文部省文化財保護委員会の古文書特別調査で開元寺版一切経と判明。 同上	
3・27 ㊤浄土宗正法寺の方丈・庫裡ならびに八角堂の解体修理が完成。 中外 3・29	6・20 ㊤竜谷大学、西本願寺の歴代門主の蔵書「写字台文庫」を総合的に研究するため、写字台文庫研究会を発足。 中外 6・23	
3・29 ㊤東福寺塔頭竜吟庵方丈が国宝に、妙蓮寺奥書院障壁画が重要文化財にそれぞれ指定される。 中外 3・31	6・25 ㊤真言宗智山派管長・総本山智積院第59世能化に秋山祐雅当選。 中外 6・27	
3・一 ㊤千本釈迦堂通称「おかめ塚」から享保年間の舍利塔・宝篋印陀羅尼經および銅の経版を発掘。 中外 3・30	6・29 ㊤京都仏教徒会議、大雲院仏教会館で南ベトナム仏教徒殉教者慰霊法要と抗議の集会を行ない、南ベトナム仏教徒迫害に対する抗議の声明書を発表。 中外 7・3	
4・8 ㊤大雲院境内の釈迦堂を南谷別院へ移築し、完成落慶法要を営む。 中外 4・10	7・一 ㊤西本願寺、親鸞聖人700回大遠忌記念事業の一つである「同和教育センター」を文部省と協力で完成。 中外 7・30	
4・12 ㊤日蓮宗本山頂妙寺、開基妙国院日祝の450年遠忌を厳修。 中外 4・17	7・一 ㊤天台宗二尊院、什室の展覧と共に境内の門番所を改装して無料休憩所を開設。 中外 8・3	
4・17 ㊤公明政治連盟(創価学会)、府市会に進出(府会1人、市会7人)。 選挙結果報告	7・一 ㊤紫野の今宮神社が収益事業として御旅所(大宮通北大路下ル)の境域に貸店舗6軒をはじめめる。 中外 7・30	
	8・一 ㊤知恩院経蔵から狩野山楽の壁画を大阪工業大学の調査で発見。 中外 8・16	

京	都	府	日	本
8・一	㊤真言宗東寺派本山東寺に鉄筋3階建て文化財収蔵庫を完成。 中外 8・29		1・一	世界聖典刊行協会、『望月仏教大辞典』補遺2巻を刊行。
8・一	㊤東山の霊山護国神社で勤王志士維新100年祭記念事業として境内の山林に公園墓地・駐車場の建設を計画、府に申請。 中外 8・15		1・一	宮本正尊、宮中の講書初めの進講者に選ばれる。
9・一	㊤詩仙堂三十六詩仙像の修復が完成。 中外 10・1		2・1	日蓮宗初の象徴管長に身延山法主藤井日静が就任。
10・6	㊤京都YMCAが岡崎京都公会館第1ホールで創立60周年記念大会を開催、湯浅八郎「宇宙時代と青年」と題して講演。 中外 10・8		2・一	仏教文学研究会、論文集『仏教文学研究』第1集(年刊)を刊行。
10・12	㊤千年前から伝わる太秦広隆寺の奇祭「牛祭」は例年この日に行なわれてきたが、交通事情・ミコシのかつぎ手のないことが原因で中止。 京都年鑑 昭40		3・13	日中仏教交流懇談会長大谷瑩潤、鑑真和上1200年忌遺徳奉賛会大法要と記念事業につき中国仏教協会と打合わせのため中国へ出発。
10・22	㊤鞍馬の由岐神社で5年ぶりに火祭を復興。 中外 10・24		3・28	築地本願寺で駐日セイロン大使故サー=スタント=デ=フォンセカ氏の追悼葬送式を挙
11・9	㊤全日本仏教学生自治連合、第1回全日本仏教学生会議を本願寺会館で開催し、仏教関係大学10校の仏教青年会をもとに全日本仏教青年会を組織(～10日)。 中外 11・12、13		4・1	神社本庁提唱の建国記念日は議員立法として通常国会に提案されたが審議未了のまま廃案となる。
11・15	㊤京都仏教徒クラブ発会(会長三崎良泉妙法院門跡、副会長塚本善隆京都国立博物館長・今小路覚瑞相愛学園長)。 中外 11・17		6・3	福岡市電気ホールで、第11回全日本仏教徒会議を開催。
11・25	㊤第30回金光教立教記念式京都大会、京都公会館第2ホールで開催。 中外 11・10		6・30	『キリスト教大事典』(教文館)刊行。
11・一	㊤住谷悦治、第14代同志社社長に就任。 同志社90年小史		7・9	商業登記法の施行に伴う関係法令の整理などに関する法律(宗教法人法の一部改正を含む)公布(昭39・4・1施行)。
11・一	㊤明德学園、明德会館を完成。 中外 11・7		7・14	宇井伯寿(元東大教授・印度哲学者)没(81歳)。
12・5	㊤東福寺本山山内の海蔵院養老施設洛東園火災。 中外 12・6		9・一	核兵器禁止宗教者平和使節団(松下正寿ら)、各国を訪問。
12・7	㊤京都YMCAでクリスマス巡回慰問募金クリスマスセールを開催、カード・キャンドル・アクセサリーなどを販売。12・13からYMCA会員が養護施設・僻地へ巡回慰問(～22日)。 中外 11・30、12・17		9・一	天台寺門宗管長に中村健寿を選出。
12・15	㊤同志社教会のクリスマス祝会、従来のお祭り風をやめ礼拝後合唱・スライドなどを行なう。 同志社教会90年小史		この年	
12・一	㊤京都府仏教会、寺院相互の共済と親睦をはかると共に、不慮の災害にそなえて近畿各府県仏教会に呼びかけて共済制度をつくることを決定。 中外 昭39・1・1		▷	中村元、8月から半年間米ハーバード大学で仏教を講義。
	この年			
	▷	㊤竜谷大学、学監制度を廃止して学部長制度採用を決定。 中外 2・15、3・14		
	▷	㊤下鴨神社に結婚式専用の会館建設(年間挙式数750組から1,000組獲得を目標)。 中外 2・8		

京 都 府	京 都 府
<p>1・15 ㊤真言宗総本山醍醐寺如意輪堂、京都府文化財保護課の指導で全面解体修理完成。 中外 1・14</p> <p>1・25 ㊤花園大学図書館内に併設された禅文化研究所(財)(山田無文所長)、禅文化の総合センターとして発足。 中外 1・26</p> <p>1・30 ㊤真言宗智山派聖典刊行会、『智山全書』の発行を決定。 中外 2・1</p> <p>1・一 ㊤真言宗大本山大覚寺、毎月21日の弘法大師の命日を写経日に制定。 中外 1・11</p> <p>1・一 ㊤臨済宗妙心寺の山内および塔頭寺院の防災施設を4カ年継続事業で着手することに決定。 中外 1・12</p> <p>1・一 ㊤竜谷大学、『大正新脩大藏経』の索引「華嚴部」を完成。 中外 1・24</p> <p>2・4 ㊤『大木七十年史』上巻刊行。</p> <p>2・11 ㊤デンマーク聖書協会が日本聖書協会を通じて京都の仏教教団に聖書を贈呈。 中外 2・12</p> <p>2・16 ㊤京都仏教婦人会、創立70周年を記念して竜谷大学で講演会を開く。 中外 2・15</p> <p>2・17 ㊤黄檗宗第53世管長木村亘豊没、83歳。 中外 2・25</p> <p>2・23 ㊤顕本法華宗の管長に吉水日洋が、宗務総長に朝倉俊夫が就任。 中外 2・28</p> <p>2・24 ㊤㊤文化観光施設税、新年度から「文化保護特別税」と改称し新たに5年間の期限で存続させることに決定。3・6、31の指定社寺が税金を寄付行為に切りかえるよう要望、清水寺・金閣寺など大手11社寺は拝観料を値上げし徴税非協力の態度を打ち出す。3・16、大仙院など大徳寺山内塔頭寺院7カ寺が同税に協力の態度を示す。9・1、同税実施。 京都 2・24、3・11、9・1</p> <p>2・一 ㊤同志社教会のいずみ会が「教会の家」に教会文庫を設置、一般に公開。 同志社教会90年小史</p> <p>2・一 ㊤臨済宗妙心寺派花園会館、一般の宿泊や展示会などは一切中止して、宗教目的にそうように管理運営されることに決定。 中外 2・20</p> <p>2・一 ㊤鞍馬寺山内歓喜院、鉄筋4階の建物として完成(ホテルくらまと併置)。 中外 2・5</p> <p>2・一 ㊤花園大学、仏教福祉学科の増設を文部省から認可され、新学期から発足することに決定。 中外 2・15</p> <p>3・27 ㊤蘆山寺所蔵慈恵大師自筆遺告を国宝に、竜谷大学本館を重要文化財に指定。 中外 3・31</p>	<p>3・28 ㊤昭36・3 に復興した大報恩寺(千本釈迦堂)の千本釈迦念仏(遺教経会)で、「おかめ念仏音頭」を新たに編曲して奉納。中外 3・11、31</p> <p>3・一 ㊤銀閣寺・金閣寺・竜安寺など11カ寺、京都市文化保護特別税拒否を申合わせる。 中外 3・4</p> <p>3・一 ㊤『一遍上人絵伝』(観喜光寺本)全12巻、国立京都博物館で初めて公開。 中外 3・22</p> <p>3・一 ㊤臨済宗天竜寺の方丈前庭園を廻遊式にする。 中外 3・26</p> <p>4・5 ㊤臨済宗建仁寺開山千光祖師(榮西禪師)の750年大遠誦法要を厳修(〜8日)。</p> <p>4・6 ㊤京都市の「文化保護特別税」に反対の清水寺・金閣寺など11カ寺、「同税は信教の自由を保証する憲法に反する」との声明を発表。 中外 4・8</p> <p>4・15 ㊤真宗高田派専修寺京都別院、右京区鳴滝音戸山町に移転再建工事を完成(新別院は鉄筋コンクリートと一部木造の平屋建てで、建坪約5,000平方メートル)。 中外 1・15、4・18</p> <p>4・18 ㊤臨済宗東福寺、兆殿司550年遠忌法要・昭憲皇太后の50年忌法要・関白一条実経650年遠忌法要を執行(〜20日)。 中外 4・19</p> <p>4・25 ㊤京都宗教者平和協議会、平安教会で結成3周年記念大会を開き、「祝祭日改正案に反対する」決議等を行なった。 中外 4・28</p> <p>4・一 ㊤黄檗宗管長に中村弘道を選任。 中外 4・28</p> <p>4・一 ㊤仏教大学、学監制を改めて部長制を採用。 中外 4・17</p> <p>4・一 ㊤真言宗大本山泉涌寺即成院の阿弥陀如来・二十五菩薩、等の重要文化財(旧国宝)の修理を完成。 同上</p> <p>5・15 ㊤真宗仏光寺派裏方が得度、真宗史異例の裏方得度。仏光寺派定宗において方法、資格等を審議中。 中外 5・17</p> <p>5・20 ㊤真言宗御室派臨時宗会において御室流派の華道会館建設を可決。 中外 5・21</p> <p>5・21 ㊤府文化財保護課、智積院の国宝障壁画・西本願寺の国宝白書院の障壁画が異常乾燥によりひび割れたため、重要文化財以上の指定障壁画を管理している20寺院に事故統発防止を指示。 京都年鑑 昭40</p> <p>5・27 ㊤東山学園創立100年への充実計画中の本館が完成しこの日竣工式。 中外 5・27</p> <p>5・一 ㊤妙心寺保存会が、1億円の防災設備着手を機に発足、本山永遠の護持を目的。 中外 5・10</p>

参 考	日 本
	<p>1・11 真言宗豊山派日本仏教使節団(小野塚団長)、インド・ネパール・タイ・香港・沖縄の寺院参拝と親善のため羽田を出発。</p> <p>1・25 岸本英夫(宗教学者)没(62歳)。</p> <p>3・4 立正佼正会の大聖堂落成。</p> <p>3・11 西川景文(元日蓮宗務長)ら、中国仏教協会の招待で中国へ出発。</p> <p>5・一 大阪の日蓮正宗蓮華寺、大石寺末から離脱。</p> <p>7・一 第2回世界宗教者平和会議(東京)。</p> <p>8・一 国民各層の宗教情操の育成・普及・浸透を旨として宗教センターを設立。11・17 第1回布教科学シンポジウムを開催(〜19日)。</p> <p>8・一 生長の家政治連合結成。</p> <p>11・8 創価学会、文化祭を開催(国立競技場、参加10万人)。</p> <p>11・17 公明党結成大会(公明政治連盟は発展的解消)。</p>

京	都	府
6・29 ㊤知恩院の布教師会結成（これに先立って総本山布教師会解散）。 中外 7・1		11・5 ㊤西山深草派本山誓願寺、再建の本堂の上棟式を行なう。 中外 11・6
7・25 ㊤㊤京都市の「文化保護特別税」に最後まで反対していた清水寺（貫主大西良慶）が協力の態度を表明し自治省の許可（6・5）後2カ月実施の遅れた同税は円満解決。 京都年鑑 昭40		11・15 ㊤真言宗初の合同教学大会を東寺で開催（～16日）。 中外 11・17
7・一 ㊤北区下鴨南芝町の日本ユナイテッド・ペントコステ教団本部、北区上賀茂本山365に会堂を新築し移転、京都福音教会と名のる。 ☆		11・20 ㊤西山浄土宗、教団の近代化を目標として総合企画審議会設置を決定。 中外 10・9、11・22
8・6 ㊤真言宗総本山醍醐寺重文開山堂と国宝薬師堂等を昭36修復着手し完成、落慶法要を醍醐山上の開山堂で執行。 中外 8・8		11・一 ㊤真言宗智山派、4月に智山全書刊行会を設け、11月から『智山全書』20巻の刊行を決定（智山学派の学匠の著作を収録）。 中外 8・28
8・7 ㊤竜安寺、9・1から小・中学生の拝観をこたわること決定（昭42・5 高校生の団体拝観も）。 京都年鑑 昭40、43		11・一 ㊤真言宗智山派総本山智積院、教学の振興、研修壇信徒の教化育成のため壇信徒会館を建設することに決定。 中外 12・1
8・25 ㊤臨済宗妙心寺派は社会事業従事者研修会を花園会館で開催、幼児仏教保育の方法を研究（～26日）。 中外 8・28		12・24 ㊤伏見稲荷大社の藤巻正之宮司が釈表を提出し新たに神奈川具森戸大明神の守屋光春宮司が就任（藤巻宮司は名誉宮司となる）。 京都年鑑 昭41
8・一 ㊤臨済宗妙心寺派の本山の塔頭寺院や本山古文書の調査を京都大学工学部学生が着手。 中外 8・30	この年	
9・1 ㊤㊤京都市、文化保護特別税実施（3・27市会成立。文化観光施設税にかわる。対象市内32社寺）。 ⁽¹⁾ 京都年鑑 昭40	▷ ㊤竜谷大学を中心に仏教系8大学、文部省の研究助成で「教団論」を総合研究。 中外 12・2	
9・2 ㊤臨済宗妙心寺派の御詠歌団体無相教会の代表委員会、無相教会創立15周年と花園流開創30周年記念事業について審議。 中外 9・4		
9・10 ㊤真言宗御室派務本山仁和寺、臨時宗会で双ヶ丘の二ノ岡・三ノ岡の売却を決定（買い手が観光資源化構想を発表し、古都の保存か開発かで世論大いに沸く。昭40・6 買い手の資金面の事情もあり売買契約を解除）。 京都年鑑 昭41		
9・17 ㊤知事、文化財保護基金制度を提唱（昭40・4・1 京都府文化財保護基金(財)発足）。 府政だより資料版 111、122		
9・一 ㊤竜谷大学、創立330周年・宗祖生誕800年を目標に、5年計画で充実をはかる。 中外 9・20		
9・一 ㊤真言宗東寺の洛南高校に「宗教教室」を建設。 中外 6・28		
10・一 ㊤種智院大学、密教学会を復興。 中外 10・10		
10・一 ㊤臨済宗妙心寺派、華道妙心寺正流の復興を中断し別個に妙心寺一山会が妙心寺合掌隊を結成して茶華道の講習会を行なうことに決定。 中外 10・14		
10・一 ㊤西本願寺、1万末寺の宗勢調査の単純統計が出来上り、自動車所有全寺院の10%、スクーター保有全寺院の40%等が判明した。 中外 10・27		

参	考	日	本
<p>(1) 「文化観光施設税」は、昭31・10・13、7年半の期限付きでスタート、指定社寺を訪れる観光客に対して大人10円、子ども5円の税金を徴収してきた。指定社寺も当初わずか9社寺であったのが昭39・4・12の期限切れまでに32社寺となった。</p> <p>「文化保護特別税」は、文化観光施設税にかわるものとして昭44・8・31までの5年間実施。拝観料をとっている32社寺の観光客に大人10円、子ども5円を徴収。</p> <p>これらの税収入は合わせると13億6千万円にのぼり、京都会館建設に6億7,500万円、文化財の保護・伝統芸能の保存などに4億3,400万円、観光道路・便所整備に1億9,400万円などに使われ、市の文化観光行政の進展に役立った。</p> <p>市民しんぶん 昭44・10、京都年鑑 昭40、41</p>			
○文化観光施設税			
年度	税収	対象社寺数	備考
31	11,272千円	18	昭31・10・13から
32	68,698	19	
33	70,369	〃	
34	78,287	20	
35	87,444	〃	
36	103,245	32	
37	101,669	〃	
38	118,140	〃	
39	23,626	〃	昭39・4・12まで
○文化保護特別税			
39	60,792	32	昭39・9・1から
40	146,898	〃	
41	133,294	〃	
42	136,237	〃	
43	147,183	〃	
44	77,476	〃	昭44・8・31まで
京都市理財局資料			

京	都	府
1・5 ㊤浄土宗大本山清浄華院法主石橋誠道没。 中外 1・7		4・15 ㊤西山禅林寺派管長に五十嵐準良を決定。5・28 禅林寺に晋山。 中外 5・11、17、22
1・23 ㊤壬生寺の本堂再建起工式(10・15上棟式)。 中外 1・15		4・29 ㊤日本聖公会聖ヨハネ教会(河原町五条下ル)は住宅公団の敷地提供の要望をうけ住宅ビル内に教会を設置する形で新教会堂を建立。 中外 3・30
2・18 ㊤西山禅林寺派管長に伊藤隆範管長が3選(3・2没)。 中外 2・20、26、3・4		4・一 ㊤京都産業大学(4月開校)が宗門校東山学園(浄土宗系)と提携し、姉妹校として発足、産学協同の教育方針を打ち出す。 中外 1・9
2・27 ㊤真言宗東寺派総本山東寺が宗派からの離脱を府に申請。これに伴って府下の勧智院・宝菩提院・金勝院・神泉苑の塔頭寺院・三宮寺・水薬師寺・大黒寺・京極寺・円乗寺の本山支持12カ寺も宗派離脱を申請。3・18 認証。 中外 3・18、20		4・一 ㊤深草浄土宗、西山深草派へ復帰(浄土宗西山深草派では4月本山誓願寺の本堂復興を期してその分派の一つ「深草浄土宗」が復帰)。 中外 11・13
2・一 ㊤「正信偈」をポルトガル語に翻訳し出版、竜谷大学仏典翻訳部と元ブラジル人の留学生ジョン=パチスタ=デビエの協力。 中外 2・12		4・一 ㊤臨済宗の妙心寺派と南禅寺派、寺院僧侶および寺族の共済福祉を目的とする共済制度を始める。 中外 4・11
3・4 ㊤清水寺、法相宗から独立して「北法相宗」の設立を決定、清水一山である成就院・宝性院・慈心院・延命院・泰産寺・真福寺・来迎院の7カ寺が加わる北法相宗となる。5月京都府へ申請、7・1 北法相宗の創立式を執行。 中外 4・22、7・2		5・10 ㊤妙心寺、花園大学児研部と提携して「禅と幼児教育」と題する妙心寺派教材カリキュラムの刊行を決定。臨済宗で初めての禅を主体とし教材たカリキュラムを編集、この秋「保育幼稚園楽譜」も刊行。 中外 5・12
3・4 ㊤金閣寺で拝観料の横領事件が明るみに出、観光寺院の経理のズサンさが問題となる。 京都年鑑 昭41		5・10 ㊤京都イエス教団、伏見区桃山に総合福祉センター「桃陵友愛館」を開設(カギッ子人生相談室などをもうける)。 中外 6・20
3・9 ㊤真言宗智川派の遍照講、本山智積院で密厳流全国奉詠大会を開催、同時に修行大師家開眼法要を行なう。 中外 5・2、26		5・21 ㊤真言宗御室派総本山仁和寺で覚性法親王・守覚法親王・尊性親王の3法親王の800年遠忌を営む。 中外 5・2、28
3・15 ㊤平安神宮鎮座70年記念大祭と孝明天皇100年大祭を奉修(総経費4,000万円、社殿修復3,000万円、大祭費1,000万円、記念出版『大極殿の研究』など)。 中外 3・14		5・26 ㊤竜谷大学で教職員組合を210数人で結成(執行委員長石田充之教授)。 中外 5・28
3・17 ㊤千本釈迦念仏法要を初公開、真言宗智山派大報智恩寺で秘伝のペールをぬぐ。大原千本式声明のふしによる遺教奉誦、念仏おどりなど明治以来寺だけで営んできた行事。 中外 3・23		5・一 ㊤同志社大学が『キリスト教社会問題研究』を創刊。 同志社90年小史
3・18 ㊤真言宗東寺派総本山教王護国寺(東寺)、同宗東寺派からの宗派離脱を認証される(離脱の理由は宗派本山一体の宗政を分離し歴史的に由緒のある東寺の「真言宗根本道場」としての自主性を確立するため)。 京都年鑑 昭41		6・7 ㊤聖護院を本山とする本山修験宗を設立。本山聖護院では昭36以来、宗派から離脱、その後帰入寺院も増加、本山修験宗として宗派運営を行なう、非法人で発足。 中外 5・10
3・20 ㊤もと臨済宗妙心寺派管長後藤瑞巖没、85歳。 中外 3・23		6・16 ㊤㊤京都市、社寺のアルバイトに課税を決め、対象57社寺のうち37社寺に固定資産税の決定通知書を発送(課税総額約30万円)。 京都年鑑 昭41
3・22 ㊤キリスト教徒発見百年祭のために来日中のマレラ枢機卿が来京、ノートルダム女子大学を訪問。 中外 3・20		6・18 ㊤東寺派、本山離脱後初の臨時宗会を開き新管長公選の細則を決める。 中外 6・20
4・1 ㊤全国で初めての京都府文化財保護基金(財)発足。 府政だより資料版 122		7・3 ㊤京都YMCAが「ヤングレディーのための国際教養講座」を開催、エチケットや茶道を指導(第2回目は7・10)。 中外 6・25
4・8 ㊤浄土宗正覚寺(中京区裏寺町通蛸薬師下ル)、庫裏と本堂を全焼(同寺は知恩院の末寺で古くから「赤門の寺」と呼ばれる由緒のある寺)。 京都年鑑 昭41		7・11 ㊤西本願寺、竜谷教学会議を設立、現代に密着した教学をうち出すため同派の学階所有者に呼びかけ、この日、大宮学舎で設立総会。 中外 7・15
4・15 ㊤竜谷大学、宗教部を新設。学長直属の機関として学生への宗教教育の徹底をはかる。 中外 4・10		7・21 ㊤日本最古の禅寺檀林寺復興。この日府文教課新寺建立を許可、この寺は江戸末期に廃寺となっていたもの(復興発願者は商人である松森米蔵)。 中外 7・31
		7・29 ㊤西山深草派の管長に平野有善が就任。 中外 7・21

京	都	府	日	本
8・10 ㊤本圀寺、国家公務員共済組合連合会に境内地の約80%を売却。 中外 8・28			1・20 浄土宗西部布教師会第1回布教研修会を大阪市で開催(～21日)。	
8・25 ㊤天台宗京都教区「中学生の会」を組織、昭41が伝教大師生誕1200年に相当するためその記念事業として、天台宗の青少年としての自覚をあたえようとするもの(～26日)。 中外 7・16			2・一 全日本仏教会とカトリック教団、結束して世界の平和に寄与することを決議。	
8・26 ㊤臨済宗南禅寺派に今年度から安居会の制度をつくる。寺庭婦人のためのものと、教師の資格を得るためのもの。この日から大学生を対象とした安居が行なわれる。 中外 8・28			3・28 曹洞宗大本山総持寺大祖堂落慶式。	
8・一 ㊤臨済宗妙心寺派で『宗門安心章』とその注釈書がまとまる。僧俗ともに同唱同和できる新しい經典として普及。 中外 8・29			4・10 日蓮宗不受不施派再興90周年式典を岡山市御津町の妙覚寺で挙る。	
9・9 ㊤台風23号文化財建造物等を荒らす。真言宗智山派海住山寺の国宝五重塔の相輪・教王護国寺南大門・万福寺三門など被災(～10日)。 中外 9・25、昭41・5・3			5・一 高野山開創1150年法要執行(～7月)。	
9・20 ㊤臨済宗大徳寺派管長に小田雪窓3選、任期5年。 中外 10・2			6・19 日本仏教会、「仏教徒の人間像」をテーマに京都のほか各地で日本仏教文化会議を開催。	
9・22 ㊤平安神宮で講社設立70周年を記念し平安神宮婦人会を設置(昭41・4・27、発会式)。 中外 9・12			6・22 比叡山延暦寺教育財団設立認可。	
10・6 ㊤銀閣寺国宝東求堂解体修理成る(東求堂は東山時代の書院建築の代表で義政公の持仏堂)。10・6 落慶法要。 中外 10・8			9・23 創価学会少年部発足。	
10・8 ㊤浄土宗寺庭婦人の連盟結成(寺庭婦人会の全国研究会を10・5～9 京都知恩院で開催、青少年および婦人教化事業の協力を目的。 中外 10・10			9・26 宗教センター(財)、宗教情操高揚大会を開催。	
10・9 ㊤福音クルセード京都大会開催。 中外 10・21			10・3 真言宗豊山派長岡化主、総本山長谷寺(奈良県)に晋山。	
10・12 ㊤下京区夷馬場町の金光教高原教会で金光教開教80周年記念大祭。 中外 10・14			10・8 日本遺族会の靖国神社国家護持に関する調査会、靖国神社法要綱案発表。	
10・24 ㊤密教芸術宝物館完成初公開。世界に誘う密教芸術、法具の粋を集めた真言宗総本山東寺で秘宝展として特別公開される。 中外 10・26			10・14 高野山真言宗、寺族婦人会本部設立。	
10・28 ㊤生長の家の劇団「春鳥」、弥栄会館で京都公演、谷口清超作「高原」を上演。 中外 10・22			10・16 第2回全真言宗教学大会開催。	
10・30 ㊤南禅寺派、教学財団をバックに宗門子弟の学生会結成、教学振興に寄与、人材養成。 中外 10・12			10・16 日光東照宮350年大祭(秋季)執行。	
10・一 ㊤『道教教典』(道蔵)索引が完成、京都女子大学図書館員による。 中外 10・21			10・18 天台宗教学大会、大正大学で開催。	
11・10 ㊤西山浄土宗管長に須佐晋竜を選出、晋山式は26日。 中外 11・11			10・20 全日本仏教青年会、第1回全日本仏教青年会議を名古屋で開催。	
11・19 ㊤下鴨神社の参集殿竣工(昭40・8着工、総工費1,500万円)。 中外 11・25			11・5 大阪の仏生山蓮華寺落成。	
11・27 ㊤東本願寺、全国同盟大会を大師堂で開催。 宗教年鑑 昭40			11・6 印度初転法輪寺の記念式典に参加の日本仏教代表団一行、羽田から出発。	
12・5 ㊤深草浄土宗、臨時宗会を開き西山深草派に合同をきめる。 中外 12・2			11・7 成田山新勝寺に松田新貫首入山。	
この年			11・10 日本宗教者平和協議会、第3回宗教者平和会議を東京で開催(～11・11)。	
▷ ㊤㊤府文化財保護基金、昭和40年度事業で美術品・建築物修理・防災施設・環境整備等のため社寺に約4,500万円を融資(対象は慈芳院の単庵筆屏風ほか34件)。 府文化財保護基金事業概要			12・4 聖徳太子研究会学術大会を大阪四天王寺短大で開催。	
			12・10 時局対策宗教者会議、東京で発会。	
			12・14 仏教伝道協会(財)、設立認可。	
			12・16 仏教政治同盟再発足。	
			12・25 古都保存法案、衆議院で可決(昭41・3・15施行)。	

京 都 府	
1・19 ㊟祇園祭の山鉾巡行の一本化(7・24の後の祭りの山巡行を17日に一本化)を決める。 京都年鑑 昭42	4・一 ㊟六波羅密寺解体修理中「泥塔」が多数出土。 中外 7・5
1・23 ㊟「教会の一致」を呼びかける京都会、円山音楽堂で開催、7教派が参加。 中外 1・25、28	4・一 ㊟仏教大学学長に恵谷隆戒を3選。 中外 4・14
1・26 ㊟本圀寺、山科御陵大岩町へ移転の構想を発表。昭42・12買収地は地盤軟弱で建築不能のため移転は一時見送りとなる。 京都年鑑 昭42、43	4・一 ㊟真言宗智山派、総本山智積院に檀信徒会館を建設し(総工費1億5千万円)、それに伴う教化方策の一端として教化研究所(仮称)設置を表明。 中外 3・26
1・29 ㊟浄土宗開宗800年は昭49と決定。知恩院で中央準備委員会が承安5開宗説をとって決定。 中外 2・1	4・一 ㊟竜谷大学真宗学会、『教行信証』の用語索引を完成・出版(5万語)。 中外 3・1
2・7 ㊟臨済宗相国寺派前管長山崎大耕没、92歳。 中外 2・9	4・一 ㊟高原美忠(八坂神社宮司)、皇学館大学学長に決定。 中外 4・2
2・10 ㊟仁和寺、新たに双ヶ丘二ノ岡・三ノ岡の売買契約を宗会で議決。2・15契約締結(文部省・府教委、現状変更不許可を表明)。 京都年鑑 昭42	4・一 ㊟護王神社が護王大学府「弘文院」を開校、神道宣布の尖兵を養成、院生46人。 中外 11・28
2・16 ㊟天竜寺(管長関牧翁)、定期集會に住職の妻の座公認を提案、布教の内助の功を認める。妙心寺に続いて寺族の宗教活動が認められる。 京都年鑑 昭42	5・17 ㊟真言宗醍醐派管長に細川英道。 中外 5・21
2・17 ㊟西山浄土宗、開宗800年の準備局の設置決定。 中外 3・2	5・18 ㊟青蓮院の寺宝「大手鑑」東京で85万円で購入される。他の寺宝20点も所在確認2点だけで同院のルーズな管理が明るみに出る。 京都年鑑 昭42
2・25 ㊟西本願寺、定例宗議会で納骨堂建設費等20億円予算を可決。 中外 2・26	5・21 ㊟西本願寺京都教区劇団「アソカ」を結成、演劇を通じての教化を目的。 中外 5・19
2・一 ㊟仏教大学、『民間伝説の信仰の研究』資料編を出版。 中外 2・15	5・27 ㊟臨済宗妙心寺塔頭靈雲院(山田無文住職)の書院「御幸の間」(重文)が放火によって一部焼失。 中外 6・10
2・一 ㊟竜谷大学図書館「竜谷蔵」を設置、最古の梵文「無量寿経」など貴重書2万点を集結、総合研究へふみ出す。 中外 2・3	6・15 ㊟東本願寺宗議會議、本山寺法の一部改正(別院条例)を可決し、懸案であった大谷光紹新門が東京別院の住職になれることとなる。 ⁽⁴⁾ 京都年鑑 昭42
3・2 ㊟大聖寺門跡石野慈栄尼没、79歳。 中外 3・5	6・21 ㊟西本願寺、音楽法要専属合唱団(団員42人)を発足。 中外 6・23
3・12 ㊟真言宗御室派別格本山高山寺、御室派を離脱、総本山仁和寺に通知。13日境内へ離脱公告。 中外 3・15	6・27 ㊟韓国から邦人遺骨2,700体(京城西本願寺元別院に保管分)帰り、この日大谷本廟へ収骨。 同上
3・25 ㊟南禅寺、文化財保護委員会によって史蹟指定をうける。 中外 3・27	6・一 ㊟仏教大学、大学院設置と社会学部、文学研究科の増設を申請。 同上
3・26 ㊟泉涌寺(仏殿・大門・開山堂・開山および清水寺(仁王門・三重塔・経堂)、重要文化財に指定さる。 中外 3・29	6・一 ㊟真如堂に薬師堂完成(伝教大師がきざんだと伝説のある石薬師の御堂)。 中外 6・30
4・1 ㊟浄土真宗本願寺派親鸞聖人鑽仰会は人生相談所を常設、信仰・家庭・教育・法律を分担。 中外 2・18	6・一 ㊟メリノール宣教会、北白川東蔦町17に宗教人文科学研究所を設立、キリスト教と仏教との対話のための研究所とする。 中外 6・25
4・19 ㊟岡田戒玉(真言宗醍醐派管長、総本山醍醐寺座主、大本山三寶院門跡)没、76歳。 中外 4・21	7・5 ㊟超宗派である靈山観音の初代座主に北法相宗清水寺管長大西良慶が就任。 中外 7・7
4・23 ㊟知恩院の仏教音楽研究所開所式。 中外 4・26	7・7 ㊟西本願寺観学寮梅原真隆没、82歳。 中外 7・8
	7・17 ㊟祇園祭、初めて24日の後の祭りの山巡行を17日前祭に一本化して計28基で行なわれる。(このため、7・24の後の祭りに新しく花笠巡行が登場、300人が花笠をつけて花やかなパレードをくりひろげる)。 京都年鑑 昭42

参 考	日 本
(1) 昭39・6、真宗大谷派(東本願寺)の第74回定期宗議會議に、宗門のリバイバルを旨とする「信仰ねりなおし運動」(同朋会運動)のため、人気のある光紹新門に東京別院住職として首都布教の第一線活動をしてもらおうと本山寺法の一部改正案を提案。しかし「法主の後継者である新門に法規的な規制を加えるのは非礼」として一部議員の反対で否決された。このため同6・24、訓覇信雄宗務総長は内局を総辞職。 京都年鑑 昭40	3・5 創価学会、壮年部結成。 3・11 東大寺、奈良県の文化観光税課税を拒絶し、奈良地裁に同条例の無効確認などを申し立てる(4・16同地裁が却下)。 4・15 古都保存法施行。 5・31 カトリック教会と日本基督教団との間で、エキユメニカル(教会一致運動)懇談会を開催。 6・6 文部省、宗教法人へ「宗教法人の適正な運営について」通達。 6・7 祝日法改正案、衆議院本會議で可決(6・25参議院で可決)。 6・25 国民祝日法改正公布(9・15を敬老の日、10・10を体育の日とする。建国記念の日は6カ月以内に政令で定める)。 7・12 鈴木大拙没(95歳)。 8・17 天台宗、伝教大師生誕1200年慶讃法要を執行(~20日)。 9・15 紀元節復活反対キリスト者決起集會、 9・17 紀元節復活反対国民集會。 10・4 真言律宗、総本山西大寺開創1200年法要を執行。 10・27 自民党憲法調査会総会で「靖国神社の国家護持」を検討。 11・1 日蓮宗大本山池上本門寺本堂落成。 11・6 WFB(世界仏教徒連盟)、タイ国で第8回世界仏教徒會議を開催、日本代表参加。 11・18 石橋湛山・安川第五郎ら、ありがとう運動推進会を結成(本部・東京都港区赤坂、会長・朝日奈宗源)。 12・8 建国記念日審議會議、建国記念の日を2・11と答申、12・9公布。 12・9 国民文化會議・紀元節問題懇談会など、建国記念日審議會議答申に抗議声明。 この年 ▷ 新宗連政治連合結成。

京	都	府
7・20 ㊤大徳寺国宝方丈で不審火、探幽の襖絵を焼失。 中外 7・22		10・1 ㊤顕本法華宗総本山妙満寺は中京区寺町二条下ルから左京区岩倉幡枝町へ移転決定、京都市へ境内を売却(昭45・4 本堂落成)。 中外 10・20
7・28 ㊤大谷光紹新門、東京本願寺(浅草)住職に就任。 京都年鑑 昭42		10・1 ㊤寺院駐車場は収益事業に非ずと大阪国税局結論。 中外 10・4
7・一 ㊤真宗興正派、布教師会を発足、新しい教化伝道の方法を研究。 中外 7・13		11・3 ㊤浄土真宗本願寺派の大谷本廟(西大谷)造営工事を起工。 宗教年鑑 昭40
7・一 ㊤醍醐寺、文化財の保存責任を一本化。山内の塔頭寺院の各名義所有文化財を総本山座主の名義で保存。 中外 6・29		11・21 ㊤前日蓮宗管長・日蓮宗大本山妙顕寺貫主山田日真没、92歳。 中外 11・25
8・4 ㊤竜谷大学に海外仏教研究所設置決定、開教使養成目的。 中外 8・9		11・一 ㊤真宗興正派 親鸞聖人降誕800年を迎える準備の本山御影堂金箔張り工事完成。 同上
8・21 ㊤臨済宗大徳寺派本山大徳寺の小田雪窓管長が辞任。 中外 8・24		11・一 ㊤茶祖の寺梅尾高山寺に府茶業組合の寄金により茶山梅尾の記念碑建立。 京都年鑑 昭43
8・27 ㊤全国氏子青年協議会の中央研修会、石清水八幡宮で開催し明治維新百年などについて話し合う。 中外 8・18		11・一 ㊤西本願寺布教師用新僧服でできる(60年ぶりの改革、新教服は背広とモーニングと半コートの折衷でトスキン地使用・シングルの3つボタンに背バンド。1月成安女子短大講師井筒雅風・京都女子大教授江馬務ら僧服史被服文化史の権威に検討を委嘱していたもの)。京都年鑑 昭43
8・31 ㊤府教委、社寺に「文化財管理基準」を通達。 府政だより資料版 131		12・3 ㊤同志社教会創立90周年記念日、『同志社教会九十年小史』刊。 同志社教会90年小史
8・一 ㊤絵画専門の収蔵庫、本門法華宗大本山妙蓮寺と真言宗大本山大覚寺に完成。 中外 9・11		12・一 ㊤浄土宗西山深草派分派真理教団、同派に復帰。 中外 12・9
9・17 ㊤臨済宗大徳寺派前管長、小田雪窓没、65歳。 中外 9・18		12・一 ㊤修学院宮の協町の鷲森神社が新本殿建設に着工(昭42・4・29竣工、遷座祭)。 京都 4・28
9・29 ㊤孝明天皇崩御百年前供養法要を泉涌寺で営む(～30日)。 中外 10・5		
9・30 ㊤小松輝久、平安神宮宮司に就任。 中外 10・1		
9・一 ㊤真如堂境内の換骨堂(久我悠鳳尼)天台宗離脱申請。 中外 9・17		
9・一 ㊤真言宗総本山東寺、東寺派離脱寺院12カ寺と単立寺院の連合体「寺院関係総代会」を結成。 中外 9・27		
9・一 ㊤日蓮宗大本山妙蓮寺(上京区寺之内大宮東入上ル)に文部省モデルケースのモダンな収蔵庫完成。 京都年鑑 昭43		
10・1 ㊤浄土真宗本願寺派大谷本廟納骨堂「無量寿堂」建設着工、20億円、10階建。 中外 10・2		
10・7 ㊤臨済禅師1100年遠諱法要、東福寺において臨済・黄檗両宗合同により執行(～10日)。 中外 10・7		
10・16 ㊤臨済宗大徳寺派管長に方谷浩明が就任。 中外 10・18		
10・21 ㊤家政学園るり殿完成、この日本尊阿弥陀仏像開眼法要。 中外 10・9		
10・23 ㊤千本釈迦堂(真言宗智山派)で550年ぶりに足利時代の写経会復活。 中外 10・26		
		この年 ▷ ㊤日本ユナイテッドペンテコステ教団が桂方面に伝道を開始、分教会の設立を計画。 ☆

参	考	日	本

京	都	府
<p>1・16 ㊟下鳥羽の城南宮で「鳥羽・伏見の戦資料展」開催（～3・6）、「長藩入京参朝図」・「薩藩遊撃隊旗」など当時の遺品・絵画34点を展示。 京都 1・18</p> <p>1・一 ㊟日本カトリック教会京都地区所属の12教会、京都キリスト教協議会（日本キリスト教団や日本聖公会など70教会で組織）への加盟を認められる（同派がプロテスタントのグループへの加盟申し入れは初めて）。 京都年鑑 昭43</p> <p>2・1 ㊟真言宗智山派、智積院会館を開館（教化研究所設立し調査研究に乗り出す）。 中外 2・19</p> <p>2・5 ㊟黄檗宗管長中村弘道没、79歳。 中外 2・8</p> <p>2・11 ㊟臨済宗相国寺派、昭41年度定期宗議会開き村上海総長を3選。 中外 2・14</p> <p>2・11 ㊟伏見稲荷神社で戦後20年ぶりに建国記念奉祝祭を復活。 京都 1・25</p> <p>2・26 ㊟春日通四条下ルの京都韓国キリスト教会で在日大韓キリスト教会宣教60周年記念伝道大会を開催。 京都 2・26</p> <p>2・一 ㊟カトリック京都教区が新教系の京都キリスト教協議会に加盟を申し入れる（昭40パチカン公会議のエキュメニズム運動の誓いに基づく、4・24加盟決定）。 京都 2・9、3・28、4・24</p> <p>3・1 ㊟黄檗宗第54代管長中村道没（80歳）。 京都年鑑 昭43</p> <p>3・8 ㊟府、東寺に伝わる「東寺百合文書」の買い上げを府会に追加提案（可決され、3・30府立総合資料館に搬入）。 府政だより資料版 137、138</p> <p>3・一 ㊟豊国神社が太閤ゆかりの宝物151点を宝物館に展示、常時一般公開。 京都 3・11</p> <p>4・5 ㊟日蓮宗大本山妙顕寺第60世冲鳳亀管長晋山式。 京都年鑑 昭43</p> <p>4・13 ㊟臨済宗天竜寺派西芳寺(苔寺)、開山行基菩薩と夢窓国師の開山忌法要および復元中の西来堂（本堂）の立柱式を挙（同寺本堂は応仁の乱で焼失以来450年ぶりの再興、11月上棟式）。 中外 4・15</p> <p>4・29 ㊟綴喜郡八幡町土井の飛行神社に世界各国航空事故殉難者ら1,400柱がまつられる。 京都 4・30</p> <p>4・一 ㊟吉水学園高等学校（わが国唯一の尼僧のための高等学校、浄土宗教育財団設立）入学者減少のため各宗の尼僧に開放。 中外 1・17</p> <p>5・11 ㊟浄土真宗本願寺派の西本願寺時事協会（政治結社）を正式に発足。</p>	<p>5・15 ㊟京都仏舎利苑（右京区大枝沓掛町）と呼ぶ83万平方メートルの宗教法人仏舎利苑が認証登記（周囲の境内地に6万6千平方メートルの墓苑の建設を申請、7千基の墓地譲渡を予定）。 京都年鑑 昭43</p> <p>5・一 ㊟富小路二条下ルの京都教会、鉄筋コンクリートに改築着工（11・12、竣工、献堂式）。 京都 5・5</p> <p>5・一 ㊟西本願寺に政治結社「臨事協会」発足（昭43・7の参議院議員選に体制を整えるため）。 京都年鑑 昭43</p> <p>5・一 ㊟半月近い異常乾燥で京都の重要文化財にひび割れ続出（醍醐三宝院・仁和寺寝殿・養源院宗達の襖絵など）。 京都年鑑 昭43</p> <p>6・1 ㊟洛北貴船神社の例大祭に神輿の巡行が復活。 京都 6・2</p> <p>6・5 ㊟真言宗御室派管長花柳智勝没、79歳。 中外 6・6</p> <p>6・18 ㊟河原町三条のカトリック教会の新聖堂竣工、旧聖堂での最後のミサを行ない聖体を移転。 京都 6・19</p> <p>6・25 ㊟真言宗智山派管長に那須政隆選出される。 中外 6・27</p> <p>7・4 ㊟浄土宗教育財団、仏教大学に教育学部増設を承認。 中外 7・6</p> <p>7・23 ㊟知恩院顧問会、比叡山元黒谷青竜寺に青少年道場建設を決定す。 中外 7・25</p> <p>7・25 ㊟宗教者平和日本大会、京都教育文化センターで開催（～26日）、神道・仏教・キリスト教各派から代表400人が参加しベトナム戦争即時停戦・核兵器禁止などを討議、26日大会終了後円山公園まで平和行進。 京都 7・25</p> <p>8・上 ㊟河原町三条のカトリック教会旧聖堂が愛知県犬山市の明治村に解体移転。 京都 7・28</p> <p>8・一 ㊟奥嵯峨の野宮神社が黒木の鳥居を建て替える（5年に1度クヌギ材で建て替え）。清滝の山林業青山四郎らが奉納。 京都 8・18</p> <p>9・5 ㊟『大本七十年史』出版祝賀会、亀岡の大本会館で開催。 京都 9・7</p> <p>9・16 ㊟浄土宗西山禅林寺派管長五十嵐準良没、80歳。 京都 9・19</p> <p>9・30 ㊟ダライラマ、知恩院・西本願寺を訪問。 中外 10・1</p> <p>10・4 ㊟真言宗智山派管長松平実亮没、86歳。 中外 10・5</p> <p>10・20 ㊟左京区一乗寺竹の内町に関西セミナーハウス竣工、開所式（クリスチャン=アカデミーが西ドイツ教会の寄付で建設）。 京都 10・17</p> <p>11・7 ㊟前西山浄土宗管長柳浦精一没、91歳。 中外 11・9</p>	

京	都	府	日	本
<p>11・13 ㊟聖公会京都教区ビルが鳥丸通下立売上ルに竣工、同居のパレスサイドホテルも完成、落成祝別式。 京都 11・12</p> <p>11・14 ㊟真言宗大本山石山寺座主・山階派勸修寺門跡、鷲尾光遍没、88歳。 中外 11・15</p> <p>12・1 ㊟真言宗18派総本山合同「後七日御修法」事務局、東寺に開局（戦後23年ぶり）。 中外 12・3</p> <p>12・3 ㊟八坂神社氏子青年会が明治維新百年前夜祭を京都商工会議所大講堂で開催。 京都 12・1</p> <p>12・7 ㊟天台宗輪王寺門跡兼寛永寺住職兼本堂院住職、大照晃道没、78歳。 中外 12・9</p> <p>12・9 ㊟京都仏教徒会議（理事長大西良慶北法相宗管長）、都市寺院の移転問題などについて会議。 中外 12・13</p> <p>12・18 ㊟京都キリスト教協議会、「市民クリスマス」を京都公会館第1ホールで開催（京都市のキリスト者が初めて行なう合同クリスマス）。 京都 12・19</p> <p>12・一 ㊟㊟京都市文化観光局、昭45の万国博を控え新観光コースを開発する目的で40社を選ぶ（円通寺・金福寺・実相院・永観堂・峰定寺・芬陀院・来迎院・養源院・戒光寺・即成院・方広寺・両足院・地主神社・蘆山寺・豊国神社・大心院・光悦寺・神光院・鹿王院・常寂光寺・常照寺・等持院・正伝寺・宝鏡寺など）。京都年鑑 昭44</p>	<p>2・10 国際基督教大学生、入試への能研テスト利用に反対し本館に立籠る。2・22学校側、能研テスト不採用を発表。</p> <p>2・11 初の建国記念日、東大・東京教育大などの学生、記念日に反対し同盟登校。</p> <p>2・23 津田実雄（高野山真言宗管長）没（71歳）。</p> <p>3・9 自民党、全国組織委員会文教局宗教部を新設し、同部長に新宗連後援の楠正俊をあてる。</p> <p>3・26 日本基督教団総会（議長鈴木正久）「第2次大戦下における日本基督教団の責任についての告白」を全世界に発表。</p> <p>4・11 和宗（大阪四天王寺）と聖観音宗が、比叡山で縁故宗派連合会を結成。</p> <p>4・25 仏教伝道協会(財)、岩野真雄と紀野一義に第1回仏教伝道文化賞を授与。</p> <p>5・2 世界連邦日本宗教委員会発会。</p> <p>5・12 仏教振興財団、財団法人として認可、7・1発会式。</p> <p>5・一 高野山真言宗管長に堀田真快を選任。</p> <p>6・6 文部省宗務課、都道府県宗教法人事務主管課長会議を教育会館で開催。</p> <p>7・一 浄土宗、開宗800年記念に『浄土宗辞典』編纂に着手。</p> <p>8・6 伊藤友司（真如苑主）没。</p> <p>10・8 全日本仏教徒大会第15回を岐阜で開催（前回までの全日本仏教徒会議を同大会と改称）。</p> <p>10・10 ビリー=グラハム国際大会東京で開催（～29日）。</p> <p>10・31 海上自衛隊員2,000人、伊勢神宮に集団参拝、憲法違反として問題化。</p> <p>11・1 孤峰智燾（曹洞宗大本山総持寺貫首）没（89歳）。岩本勝信が同貫首に就任。</p> <p>11・19 創価学会池田会長、公明党系の労働組合組織の検討を提唱。</p> <p>この年</p> <p>▷ 中山正善（天理教真柱）没（62歳）。</p> <p>▷ 『印影大日本統蔵経』刊行開始。</p>			

京	都	府
1・1 ㊤正月2日間の各神社参拝者、平安神宮約100万・八坂神社55万・稲荷神社117万・石清水八幡宮20万(八坂神社は前年の3倍)。 京都 1・3	2・1 ㊤竜谷大学大宮学舎(重文)5月完工をめざし、解体修理工事を行なうことに決定。 中外 2・7	
1・6 ㊤真宗仏光寺派、宗門の現勢力を把握し若手人材の発掘を目標に、全末寺へ調査書を配布、宗門白書の作成を計画。 中外 1・9	2・1 ㊤知恩院おてつき運動20万会員の達成をめざし、青少年と婦人層の開拓にのり出す。 中外 2・3	
1・21 ㊤東山区林下町に良正院の細井照道が大照学園(社)授産場を設立。 仏教年鑑 昭44	3・14 ㊤吉田神社で明治維新100年祭、中村直勝が「明治維新と京都人」と題して記念講演。 京都 3・15	
1・22 ㊤平和についての日米諸宗教京都会議、京都国際会館で開催(日本宗教連盟・宗教センター共催。米国側から各派代表12人、日本側から18人出席)。 京都 1・22、29	3・16 ㊤北野天満宮、20年ぶりに梅園を復活。再建に協力した全国の関係者2,300人を招待し野点を催す(～18日)。 京都 3・14、17	
1・24 ㊤京都キリスト教協議会、前年の市民クリスマス会収益金の一部を施設に寄付。 京都 1・24	3・16 ㊤伊勢神宮式年遷宮奉賛会京都府本部の創立総会、京都タワーホテルで開催。 京都 3・16	
1・31 ㊤浄土真宗本願寺派、門信徒会運動の強化などを要望。 中外 1・30	3・28 ㊤浄土真宗本願寺派元総長朝倉曉瑞没、90歳。 中外 3・30	
1・1 ㊤臨済宗妙心寺派、教化研究会の設置を決定。布教体制の刷新をめざす。 中外 1・31	3・28 ㊤藤巻正之(伏見稲荷大社名誉宮司)没、90歳。 朝日年鑑 昭44	
1・1 ㊤真言宗智山派、本山智積院に智山講伝所(事相の修行所)の建設を計画。	3・1 ㊤臨済宗妙心寺派、布教教化研究会4・1から活動実施を決定。 中外 3・16	
1・1 ㊤仏教大学、教育学科を増設。通学40人、通信200人の募集を開始。 中外 1・20	3・1 ㊤南禅寺・西芳寺・東寺等拝観料を20ないし30円引き上げ。 中外 3・8	
2・4 ㊤知恩院仏教音楽研究所、法然上人の「一枚起請文」の作曲などを決定。 中外 2・6	4・4 ㊤浄土真宗本願寺派得法寺住職宮村誠見、西本願寺御影堂内陣へ乱入尊前の荘厳を破壊。 中外 4・5	
2・8 ㊤知恩院企画委員会、出版部門の充実をはかるよう当局に意見を具申。 中外 2・10	4・17 ㊤知恩院、開宗800年記念事業としての宝物収蔵庫・展示場・友禅苑等の諸建造物完成、落慶法要を行なう。また青少年研修道場の建設地を延暦寺との交渉により比叡山西塔元黒谷青竜寺に決定。 中外 4・20	
2・10 ㊤府神社庁・府神道青年会が「建国記念日に日の丸の旗を立てよう」と市民に呼びかけ自動車20数台で市内をパレード。 中外 2・10	4・21 ㊤大石順教尼(仏光寺院主)没、80歳。 朝日年鑑 昭44	
2・20 ㊤西本願寺のマンモス納骨堂「無量寿堂」上棟式(総工費25億円・鉄筋コンクリート10階建・16,000基の仏壇を設置)。 中外 2・22	4・1 ㊤『本願寺史』第2巻完成。 中外 4・2	
2・28 ㊤臨済宗天竜寺派大本山天竜寺、自主性を主張して同宗派離脱を通告したが、3・9本山側と宗派側の話し合いで大本山の自主性を認め、宗派の宗務総長には本山の寺務総長が就任することなどの妥協案で4・1落着。 朝日年鑑 昭44	5・5 ㊤小野一郎(東京久ヶ原教会牧師)、平安教会牧師に就任。 中外 5・5	
2・29 ㊤一灯園主西田天香没、96歳。 中外 3・2	5・18 ㊤伏見義民祭、御香宮神社参集殿で執行。 中外 5・19	
2・1 ㊤花園大学禅文化研究所、明治禅僧の伝記編纂に着手。 中外 2・16	5・1 ㊤山本晃紹、『蓮如上人御一代記聞書』・『安心決定鈔』を英訳。海外へ蓮如の紹介をはかる。 中外 5・29	
2・1 ㊤日米第一禅協会、コロンビア大学と提携し、英訳『臨済録』の出版を決定。 中外 2・13	5・1 ㊤京都府文化財保護基金、京都府政百年を記念し、建築部門として東本願寺大師堂・東福寺本堂など36件を第1次明治文化財に指定。 中外 5・24	
2・1 ㊤真言宗総本山東寺御影堂と弘法大師座像を国宝指定に決定。 中外 2・7		

参	考	日	本	
○府文化財保護基金資金融資実績				
年度	件数	事業費 千円	融資額 千円	
昭40	35	101,814	45,110	
41	31	117,298	51,800	
42	33	198,936	80,010	
43	22	139,747	62,200	
注 昭43は9月現在の貸付決定額 資料 府文化財保護基金事業概要				
○府下宗教法人数(昭43・1・1現在)				
	京都市	その他 市・郡部	総計	
神道	神社	268	1,496	1,764
	教会	397	288	685
仏教	総数	665	1,784	2,449
	寺院	1,607	1,371	2,978
基督教	教会	39	20	59
	総数	1,646	1,391	3,037
諸教	87	26	113	
合計	15	15	30	
合計	2,413	3,216	5,629	
注 仏教の「教会」は会・教会・教会所・苑と称するもの 資料 府総務部文教課：京都府宗教法人数調				
			1・1 立正佼成会、布教本部を新設し、会員への教化・法座の充実・班組織の確立を図る。	
			1・7 熊沢泰禪(曹洞宗大本山永平寺73世貫首)没(94歳)。	
			1・19 高階龜仙(曹洞宗管長)没(90歳)。	
			1・22 日本宗教連盟、昭42から自民党内で検討中の靖国神社法案に反対声明(3・30日本基督協議会、5・5新宗連など反対声明)。	
			1・23 日米諸宗教会議を京都国際会館で開催。	
			3・2 神社本庁、国民精神高揚運動指導者錬成会を神宮会館で開催(～8日)。	
			3・5 立正佼成会、創立30周年記念式典挙行。	
			3・1 大本山成田山新勝寺大本堂落成。	
			4・23 日本聖公会、京都市パレスサイドホテルで第29次定期総会を開催し(～26日)、管区制・首座主教制を設ける法憲の一部改正、教役者定年制の実施など議決。首座主教に八代斌助を選出。	
			4・25 伊勢神宮、第60回式年遷宮鎮地祭を挙行。	
			4・29 日本福音同盟設立(日本福音主義教師団・日本プロテスタント聖書信仰同盟・日本福音連盟の3者で構成、実行委員長高田二雄、加盟人員3万2,591人)。	
			4・1 創価学会創立の創価学園(東京都小平市)、初の入学式を挙行(入学生は中学1年317人、高校1年321人)。	
			5・6 山田義道、曹洞宗宗務総長に就任。	
			5・1 中尊寺金色堂修理完成。	
			10・12 創価学会、会員の浄財355億円を元に建立する正本堂の着工大法要を総本山富士市大石寺で挙行(昭47完成予定)。	
			10・21 日本キリスト教団、15回教団総会で昭41から懸案の教団機構の改正と沖繩キリスト教団との合同を決定。	
			10・25 天理教、3代真柱中山善衛の継承奉告祭を教会本部神殿で挙行(参列者約3万8,000人、参拝者約30万人)。	
			この年	
			▷ 神社本庁・神社関係団体による明治維新100年記念行事数多く行なわれる(3・12明治維新100年感謝祭 明治神宮、9・30明治維新100年改元記念祭 伊勢神宮など)。	

京 都 府	
5・一 ㊤京都外国語大学、体育科の実技に座禅をとり入れる。 中外 5・23	8・一 ㊤真言宗醍醐派総本山醍醐寺、同寺収蔵の古文書の調査整理により鎌倉時代中期における同寺の荘園経済史料を発見。 中外 8・27
6・2 ㊤八坂神社氏子青年会、「維新100年」を祝う。 中外 6・3	8・一 ㊤浄土真宗本願寺派宗法調査会、末寺住職と寺族の恒久的な共済制度を確立するため住職退職金制度・医療共済・年金制度などについて構想をまとめて具申。 中外 8・24
6・4 ㊤京都キリスト教協議会、ベトナムの子供に医薬品の費用142万円をおくる。 中外 6・4	9・8 ㊤天理教少年会京都教区団員約800人、京都市内を交通安全を呼びかけてパレード。 京都
6・9 ㊤日蓮本宗本山要法寺、現代仏教講座を開催。毎月1回の講演会開催を予定。 中外 6・12	9・21 ㊤真言宗御室派総本山仁和寺、裏山の御室88カ所霊場を一般に開放し新霊場として発足させる。 中外 9・17
6・12 ㊤西山浄土宗、開宗800年事業計画を審議するため企画審議会を開催。西山短大拡充案等を検討す。 中外 5・31、6・16	9・28 ㊤八坂神社の清々館で明治維新諸家遺墨展を開催、伊藤博文・岩倉具視らの作品約120点を展示。 京都 9・26
6・17 ㊤臨済宗天竜寺派の苔寺西芳寺と鹿王院・宝篋院・地藏院、天竜寺派離脱を公告。 中外 6・19	9・一 ㊤臨済宗妙心寺派の教区教化本部幹部代表研修会を本山妙心寺で開催。 中外 9・12
6・29 ㊤竜谷大学深草学舎の新校舎・15号館完成。総工費2億円・鉄筋コンクリート8階建て、700人収容の八角型講堂も併設。 中外 7・2	9・一 ㊤伏見稲荷大社儀式殿落成。 朝日年鑑 昭44
6・30 ㊤靖国神社法案に反対する211団体のキリスト教徒約350人が集会を開く、集会後河原町通・四条通をデモ。 中外 7・1	10・4 ㊤浄土宗黒谷本山金戒光明寺、江戸時代の同寺回遊式庭園を整備復興。 中外 10・6
6・一 ㊤竜谷大学真宗学研究会、靖国法案に対する反対声明を発表。 中外 6・28	10・11 ㊤府敬神婦人連絡会、京都産業会館で明治維新100年記念大会を開催。 京都 10・8
6・一 ㊤臨済各派総長会結成、布教興学の統一をめざす。 中外 6・20	10・23 ㊤平野神社で明治百年記念祭、夜同社で白虎隊・七郷落ち・坂本竜馬などの琵琶演奏会を開催。 京都 10・23
6・一 ㊤京都仏教護国団創立の養護老人ホーム同和園の改築工事完成。 中外 6・4	10・26 ㊤臨済宗妙心寺派管長古川大航没、98歳。 中外 10・27
7・1 ㊤京都女子大学長に西本願寺伝道院院長結城令聞を任命。 中外 7・3	10・26 ㊤真言宗大覚寺派大本山大覚寺が特別心経祈願法要を厳修し、法要中に檀信徒協議会が史跡・名勝嵯峨御所跡保存会の発会式ならびに寺族婦人会結成式を行なう(～28日)。 中外 10・29
7・1 ㊤浄土真宗本願寺派(西本願寺)、宗祖親鸞聖人降誕800年の慶讃準備をすすめる推進委員会を設置し委員30人を任命。 中外 7・5	10・下 ㊤北山通植物園北の京北バプテスト伝道所が北山バプテスト教会に昇格(会員60人)。10・27 昇格感謝礼拝を行なう。 京都 10・26
7・4 ㊤真宗仏光寺派、聞法運動の推進をはかり第1回聞法運動推進委員研修会を開催(～10日)。 中外 7・12	10・一 ㊤種智院大学密教学会、『密教大辞典』を再版。 京都 10・4
7・6 ㊤臨済宗妙心寺派の教学調査会、定期巡教の時代的改善に伴う開教寺院の奨励、大衆禅堂の一教区一禅堂の開単などを答申。 同上	11・16 ㊤真言宗智山派総本山智積院、戦後はいじめでの結縁灌頂を奉修。 中外 11・15
7・31 ㊤西本願寺勸学寮頭深浦正文没、79歳。著書『唯識学研究』・『俱舍学概論』など60余。 中外 8・2	12・17 ㊤浄土真宗本願寺派、宗務機構の近代化をはかるため、日本能率協会による本山宗務所の経営診断をうける(10日間)。 中外 12・19
7・一 ㊤臨黄合議所主催の臨済各派総長会第1回会合を南禅寺本山で開催(布教師養成が中心議題)。 中外 8・6	12・20 ㊤六波羅密寺(真言宗智山派)本堂(重文)の解体修理を完成、本尊十一面観音の遷座法要を営む。 中外 12・24
8・16 ㊤河原町三条のカトリック教会で初のお盆ミサを執行。 京都 8・17	12・一 ㊤浄土真宗本願寺派関係学校33校、学校経営の安定と教育の向上をはかるため、親鸞聖人降誕800年記念事業として、相互扶助の共済制度、「竜谷学事振興会」の発足を決定。基金約10億円を目標とす。 中外 12・20
8・一 ㊤霊山顕彰会が東山護国神社絵馬堂跡に明治100年館(霊山宝物館)の建設を計画、10・3起工式。 京都 8・22、9・25	
8・一 ㊤真言宗醍醐派、寺院・教会・修験道教師・非住職教師の実態調査を開始。 中外 8・31	

参 考		府 下 宗 教 法 人 数 (府統計書による)		昭43・1・1 現 在 ()内は京都市	
総 数	5,629(2,413)	真言宗国分寺派	11 (10)	法宗華(真門流)	16 (12)
1 神 道	2,449 (665)	〃 醍醐派	36 (21)	本 門 法 華 宗	20 (16)
神 社 本 庁	1,562 (179)	〃 東 寺 派	16 (3)	〃 仏 立 宗	10 (5)
神 社 本 教	100 (65)	〃 泉涌寺派	19 (15)	在家日蓮浄風会	2 (1)
神 道 大 教	18 (13)	〃 山階派	3 (3)	法 華 日 蓮 宗	1 (一)
黒 住 数	11 (3)	明 算 真 言 宗	2 (1)	本 派 日 蓮 宗	2 (2)
神 道 修 成 派	1 (一)	真 言 宗	4 (4)	本 化 日 蓮 宗	2 (一)
出 雲 大 社 教	12 (10)	真 言 宗 智 山 派	37 (15)	日本山妙法寺大僧伽	1 (一)
扶 桑 教	4 (2)	〃 豊山派	5 (1)	融 通 念 仏 宗	5 (一)
実 行 教	1 (一)	〃 御室派	29 (8)	時 宗	16 (16)
神 習 教	8 (6)	〃 五智教団	5 (1)	北 法 相 宗	8 (8)
御 嶽 教	25 (15)	真 言 律 宗	6 (一)	福 田 海	1 (1)
神 理 教	3 (3)	解 脱 会	2 (2)	中 山 身 語 正 宗	1 (1)
禊 教	1 (一)	律 宗	7 (4)	円 具 光 明 教 団	1 (1)
金 光 教	64 (48)	浄 土 宗	564 (360)	山 岳 宗 飯 道 寺 修 験 単 立	1 (1)
天 理 教	486 (265)	黒 谷 浄 土 宗	36 (28)		105 (74)
神 道 親 導 教	2 (一)	西 山 浄 土 宗	121 (66)	3 キリシト教	113 (87)
直 霊 教	1 (一)	浄 土 宗 捨 世 派	7 (7)	日 本 聖 公 会	12 (9)
自 然 社	1 (1)	〃 西山深草派	23 (21)	日 本 基 督 教 団	43 (30)
大 道 教	1 (1)	〃 西山禅林寺派	85 (73)	日 本 イ エ ス キ リ ス ト 教 団	6 (3)
心 睦 教 団	4 (一)	深 草 浄 土 宗	一 (一)	日 本 基 督 教 会	3 (2)
大 日 本 大 道 教	7 (4)	臨 済 宗 妙 心 寺 派	182 (65)	日 本 ナ サ レ ン 教 団	6 (6)
稲 荷 教	8 (7)	〃 建長寺派	1 (1)	聖 イ エ ス 会	3 (1)
大 本 教	1 (1)	〃 南禅寺派	64 (22)	日 本 基 督 改 革 派 教 会	1 (1)
練 真 道 教 団	1 (1)	〃 永源寺派	9 (5)	日 本 ア ッ セ ン フ リ ー オ ン プ ゴ ッ ト 教 団	1 (1)
天 恩 教	1 (1)	〃 東福寺派	65 (27)	イ ム マ ス エ ル 綜 合 伝 道 団	1 (1)
稲 荷 神 教	3 (3)	〃 相国寺派	30 (26)	日 本 福 音 ル ー テ ル 教 会	2 (2)
天 真 教	2 (1)	〃 興聖寺派	2 (1)	日 本 ホ ー リ ネ ス 教 団	1 (1)
神 道 教 団	40 (一)	〃 建仁寺派	30 (28)	日 本 ハ リ ス ト 正 教 会 教 団	1 (1)
天 地 守 教 団	1 (1)	〃 天竜寺派	64 (23)	在 日 大 韓 基 督 教 会 総 会	1 (1)
貞 美 教	2 (1)	〃 大徳寺派	37 (33)	基 督 聖 協 団	1 (1)
心理のおしえ本部	1 (一)	〃 国泰寺派	1 (1)	日 本 バ プ テ ス ト 連 盟	1 (1)
三 玉 教	1 (一)	曹 洞 宗	273 (42)	日 本 自 由 メ ン ジ ン グ 教 団	1 (1)
神 道 本 道	1 (1)	如 来 宗	1 (1)	カ ト リ ッ ク	10 (8)
神 道 大 成 教	1 (1)	黄 檗 宗	35 (14)	日 本 バ プ リ ス ト 同 盟	1 (一)
天 道 大 元 教	1 (一)	浄 土 真 宗 本 願 寺 派	232 (124)	日 本 ペ ン テ コ ス テ 教 団	1 (1)
単立{教派神道社}	11 (8)	真 宗 大 谷 派	179 (134)	単 立	17 (16)
	62 (24)	〃 長生派	1 (一)	4 諸 教	30 (15)
2 仏 教	3,037(1,646)	〃 高田派	9 (8)	真 生 会	2 (一)
天 台 宗	74 (64)	〃 興正派	15 (7)	ピ エ ー ル 教 団	1 (1)
浄土真言遣迎院派	3 (3)	〃 仏光寺派	17 (13)	世 界 救 世 教	5 (4)
金峰山修験本宗	4 (2)	〃 木辺派	1 (1)	生 長 の 家	3 (1)
念 法 真 教	1 (一)	日 蓮 宗	206 (145)	円 応 教 単 立	11 (3)
鞍 馬 弘 教	2 (2)	日 蓮 本 宗	15 (12)		8 (6)
円 淨 宗	1 (1)	顕 本 法 華 宗	9 (4)		
妙 見 宗	9 (5)	日 蓮 法 華 宗	3 (3)		
西 山 宗	3 (3)	正 法 法 華 宗	2 (2)		
修 験 宗	1 (1)	日 蓮 正 宗	3 (3)		
天 台 真 盛 宗	9 (6)	法 華 宗 (本 門 流)	18 (14)		
高野山真言宗	98 (6)	〃 (陣 門 流)	5 (5)		
真言宗大覚寺派	13 (5)				